授業科目名	看護学総合実習Ⅰ	担当教員	教授　橋本　龍樹他
開講年次及び学期	3年　後期	必修・選択の別	必修
開講形態	実習	時間数	45	単位数	1

授業の目的（概要）

本実習は、3年前期までに履修した知識、技術を統合し、模擬患者を用いた客観的臨床能力試験 (OSCE; objective structured clinical examination) である。提示された患者事例において、疾患の理解、フィジカルアセスメントの実施方法の確認、看護問題の明確化及び看護援助の立案について、まず自己学習を行う。それをもとに、事前にフィジカルアセスメントと清潔ケアの技術練習を行う。これらの習熟度について、知識は確認テストとフィジカルアセスメントと清潔ケアの技術については模擬患者を用いたOSCEによって評価する。同時に、医療従事者として、ふさわしい身だしなみをチェックする。

学修成果（到達目標）

1.患者に対してフィジカルアセスメントを用いながら、系統的に情報収集を行い、応用的事例の健康状態をアセスメントできる。
2.患者の看護問題を明確にし、個別性のある看護援助を立案できる。
3.導き出した看護援助を安全・安楽に留意して実施できる。
4.各領域別臨地実習に向けて、自己の課題を明確にし、課題解決の方法が理解できる。

キーワード

問診、フィジカルアセスメント、清潔ケア

授業の進め方

筆記テスト、実習試験を行う

成績評価の方法（合否基準）

確認テストとOSCEの両方に合格することによって、単位を認定する。

教科書・参考書・視聴覚・その他の教材

特に指定していない

オフィスアワー

質問は適宜受け付ける。Email: ryuju@med.shimane-u.ac.jp

モデル・コア・カリキュラムとの関連

D-2 基本的な看護技術
D-2-1) 看護技術の本質
D-2-2) 看護実践に共通する看護基本技術
D-2-2)-(1) 観察・アセスメント
D-2-2)-(2) 安全を守る看護技術
D-2-2)-(3) 安楽を図る看護技術
D-2-2)-(4) コミュニケーション技術
D-2-3) 日常生活の援助技術

授業計画

回	日程	テーマ	授業内容	担当者
1	9月14日	確認テスト	疾患に関する筆記テスト	看護学科教員
2	9月15日	フィジカルアセスメントの実技テスト	模擬患者に対して、問診、バイタルサイン等を測定し、フィジカルアセスメントを実施し、評価する。	看護学科教員
3	9月16日	清潔ケアの実技テスト	模擬患者に対して、清潔ケアを実施し、評価する。	看護学科教員
4	9月17日	実技テストの再テスト	不合格者に対して、フィジカルアセスメントと清潔ケアの実技テストを再度実施する	看護学科教員
5	9月18日	総合実習Ⅰのまとめと振り返り	実技テストの総評	看護学科教員
6				
7				
8				
9				
10				
11				
12				
13				
14				

備考